

山元議委発第26号
令和5年3月15日

山元町議会議長 岩佐哲也 殿

産建教育常任委員会
委員長 遠藤龍之

優良市町村視察研修報告書

本委員会は、優良市町村視察研修を行ったので、その結果を下記のとおり報告します。

記

1 研修月日 令和5年2月16日(木)～17日(金)

2 研修地と研修項目

(1) 茨城県久慈郡大子町 ①学校給食費の無料化について

(2) 福島県南相馬市 ①学校給食費の無償化について

3 研修地の概要とまとめ

(1) 茨城県久慈郡大子町

人口15,400人、総面積は325.76km²、北は福島県、西は栃木県に接しており、町の80%は山岳地である。主な産業は農業と観光であり、国の名勝でもある「袋田の滝」には多くの観光客が来町している。

①学校給食費の無料化について

平成20年4月に児童生徒の給食費減免制を導入し、第2子は2分の1、第3子以降は無料とした。平成21年10月には若者の定住化と町外からの転入を促進し、少子化、過疎化に歯止めをかけ、地域活性化を図ることを目的とした子育て支援策の1つとして、学校給食費を実質無料化した。その際に町が給食費相当額を保護者へ補助金として交付し、保護者はその補

助金を給食費として町へ納入することとした。

その後、平成29年4月からは、補助金交付はせず、児童生徒及び園児の給食無料化を実施し、現在に至っている。無料化の財源については一般財源で対応しており、対象者は984人となっている。

まとめ

人口減少対策の一環である子育て支援施策として、給食費無料化が組み込まれており、財源の優先順位においても重視されている。町においても、子育て支援が重要視されていることから、給食費無料化の優先的な位置づけが必要である。

(2) 福島県南相馬市

人口57,128人、面積398.58km²、平成18年1月、旧小高町、旧鹿島町、旧原町市の1市2町が合併して誕生。福島県浜通りの北部で、太平洋に面し、いわき市と仙台市のほぼ中間にある。

①学校給食費無償化について

平成30年9月に「学校給食費の無料化を求める請願について」が出され、市議会において、趣旨採択。その後、令和元年10月より地元産米相当額の支援を経て、令和4年4月からは、子育て世代の経済的負担を軽減することにより、児童生徒の健やかな成長を促進し、教育環境の充実に資するため、学校給食費無償化事業を実施した。事業概要としては、保護者に対し、学校給食費相当額を補助金として、公布する。これは、無償となっても保護者に給食費の額を理解してもらうためである。財源としては、「みらいへつなぐ復興基金」を活用している。

まとめ

大子町と同様に子育て支援施策の中に学校給食無償化が組み込まれている。財源は、復興基金を活用していることから、当町においても、「子育てするなら山元町」を継続実現するため、財源を見極め町長の公約でもある給食無償化の実現を目指すべきである。